

■令和元年 12月23日号 (第1671号)

- ・補正予算案 港湾局関係国費 523 億円＝高波対策、復旧事業等推進
- ・港湾局関係 令和2年度予算案 3012 億円＝対前年度比 1.19 倍確保
- ・令和2年度港湾局関係税制改正＝津波対策特別措置延長等
- ・来年度予算案 空港整備勘定 6623 億円＝1.54 倍、羽田 700 億円等
- ・成田空港会社へ財政融資＝国交省要求、4000 億円
- ・望月義夫氏が逝去＝港湾議連会長、港湾振興に尽力
- ・日本全国みなと便り (47) 八代港・熊本港ほか
- ・伏木富山港 中央2号岸壁の増深改良＝北陸地整、今年度で半分撤去
- ・北陸地整ら 広域港湾BCP訓練実施＝富山で開催、官民19機関が参加
- ・茨城港 常陸那珂港区中央防波堤＝最後のケーソン据付発注へ
- ・名古屋港 飛島ふ頭東の再編改良＝本体B工区手続き開始
- ・高知港 三里地区防波堤機能促進＝南は延伸、東第一は粘り強化
- ・徳山下松港 水深19m国際バース整備＝栈橋本体部の築造を開始
- ・福山港 箕沖ふ頭再編改良事業＝海上地盤改良の手続きに
- ・高潮・高波・暴風 検討委中間まとめ年内公表＝港湾局、防衛工設置、護岸嵩上げ等
- ・港湾学術交流会 「感謝と交流の集い」開催＝60周年、組織解散へ
- ・港湾局 災害廃棄物の広域処理＝リサイクルポートで支援
- ・国交省調査 海岸堤防高さ5割で不足＝全国海岸、浸食対策未実施6割
- ・産総研ら 海底資源の広域分布可視化＝南鳥島周辺マンガン密集域
- ・円借款 モンバサゲートブリッジ＝建設事業 478 億円調印
- ・航空補正予算案＝空港の暴風対策等
- ・環境省 港湾のヒアリ確認調査＝四日市港、東京港等
- ・東京港 南北線沈埋トンネル名称＝「海の森トンネル」に決定
- ・気象庁ら 来年2月に気候講演会＝「海と気候変動」テーマ

■令和元年 12月16日号 (第1670号)

- ・税制改正大綱決定 とん税軽減の特別措置創設＝自民・公明、国際基幹航路の維持・拡大
- ・国交省ら 海岸保全検討を開催＝第2回、気候変動適用策
- ・長崎県五島沖 促進区域指定へ公告縦覧＝洋上風力、港湾局、エネ庁
- ・東京湾再生 官民連携フォーラムが政策提案＝推進会議へ手交、東京湾の窓創設など
- ・星の輪会 「港のたんけん」発行＝「ドボジョママに聞く土木の世界」
- ・日本全国みなと便り (46) 横浜技調
- ・仙台塩釜港 水深14m岸壁整備本格化＝塩釜港湾、仙台港区ふ頭再編改良
- ・横須賀港 進捗状況を委員会報告＝新港ふ頭、フェリー航路開設計画
- ・福井県 敦賀港長 期構想・計画改訂＝WGで方向性まとめ

- ・響灘洋上風力 基地港の整備へ準備開始＝市は年度内に地盤改良工
- ・大阪湾岸道路西伸部＝海上橋梁の形式を選定
- ・御前崎港 西埠頭を改良整備へ＝クルーズ利用にも期待
- ・海上GPS機構 中国支部設立式典開催＝港湾工事の高効率化に寄与
- ・うみそら研成果報告会開催＝3研究所連携、イノベーションを駆動
- ・苫小牧CCS CO2圧入量30万t達成＝NEDO、大規模実証試験の目標値
- ・RSO 創立20周年記念シンポ＝港湾界に新たなうねりを
- ・表層型MH 世界初、強度・剛性測定＝産総研、回収技術具体化へ
- ・クルーズオブザイヤー＝国交大臣賞、特別賞など
- ・海技協 資格取得者数を発表＝海上起重基幹技能者104名等
- ・東北地整 維持管理技術講習会＝宮古港で第3回開催
- ・苫小牧港 コンテナ船入港1万隻＝記念セレモニー開催
- ・世界初の液化水素運搬船＝川崎重工が進水式
- ・日本学術会議 台風19号緊急報告会＝12/24、防災学術連携体

■令和元年12月9日号（第1669号）

- ・改正港湾法成立 洋上風力基地港で長期貸付＝基幹航路の取組み強化等
- ・国交省 次期建設リサイクル計画＝来年上半期改定へ検討着手
- ・港湾談話室 叙勲受章者お祝いの会＝講和会も開催
- ・国交省 国土の長期展望、検討＝来夏までに課題整理
- ・日本全国みなと便り（45）久慈港・宮古港・釜石港・大船渡港
- ・横浜港 金沢水際線護岸災害復旧＝市港湾局、12月補正で工事費計上
- ・横浜港 WTOジャケット工事＝本牧地区16m耐震岸壁
- ・秋田県 能代港港湾計画変更へ＝洋上風車取扱ふ頭
- ・茨城港 東防波堤本体の手続＝12m岸壁は舗装工へ
- ・神戸港 防波堤撤去や処分場整備＝荷捌き地の液状化対策も促進
- ・大阪湾岸道路 今月にも橋梁形式等報告＝今後実施瀬敬等の段階へ
- ・佐伯港 女島地区水深10m岸壁＝予防保全事業に取組み
- ・岩国臨港道路 事業評価監視委が了承＝整備費、整備期間の変更
- ・広島空港RESA 来年度に基本・実施瀬敬＝3年度から工事着手予定
- ・松山港 吉田浜防波堤の延伸＝環境配慮した構造検討
- ・りんかい日産・寄神 洋上風力向けテーパー杭＝海上打設実証試験を実施
- ・埋浚協会 全国地整等と意見交換終了＝生産性向上技術導入、交代制試行工事等要望
- ・国交省 工期基準作成WGの開催＝中建審、定性的事項盛り込み
- ・国交省 重点計画見直しへ議論＝部会開催、交通政策基計も
- ・NEDO 風車維持管理技術の調査＝部品産業の競争力強化

- ・中部空港 二本目滑走路等で要望＝期成同盟会、早期実現へ措置要請
- ・内航海運 寄港地追加、ハブ港設置＝荷主ヒアリングで要望
- ・長崎県沖 洋上風力 61 万 kW 級計画＝配慮書縦覧、浮体式・着床式で
- ・若港が苅田港現場見学会＝県立育徳高校生 16 名実習
- ・商船三井 LNG 燃料フェリー建造＝2020 年末から運航

■令和元年 12 月 2 日号（第 1668 号）

- ・港湾建設 5 団体 働き方改革推進へ連携・協力＝関係者一体で課題解決
- ・クルーズ 寄港地観光プロジェクトの造成へ＝意見交換会、ポナン社と自治体
- ・港湾議連 財務省主計局に予算要望＝港湾は地域経済に不可欠
- ・日本全国みなと便り（44）新潟技調
- ・千葉港 千葉中央地区埠頭再編等＝県要望、出洲埠頭 D 岸壁事業化
- ・関東地整 護岸の設計手法など＝東京湾高波対策委員会
- ・北陸地整 伏富港再編整備事業着工式典＝新湊地区中央ふ頭
- ・鹿島港 本体工事その 4 手続＝外港地区南防波堤整備
- ・若手技術者発表会＝北陸地整と埋浚協会
- ・水島港バルク、供用準備＝来年度に航路増進を要望
- ・大阪湾 フェリー・RORO 船＝ネットワーク強化へ協議
- ・伊万里港 七ツ島臨港道路橋梁＝P 3～P 5 上部工を予定
- ・鹿児島港 谷山二区係留設計検討＝海上保安部の第 2 バース
- ・サイバーポート 港湾関連データ連携基盤＝2020 年末構築へ議論
- ・港湾局 ICT 導入検討委開催＝来年、本体工モデル工事
- ・東亜建設工業 アビジャン港穀物バース建設＝契約金額 90 億円、1 km 岸壁整備等
- ・JOPCA セミナー＝海外展開、「川下」への取組み
- ・大林組 洋上風車建設 2 技術確立＝着床式・浮体式で
- ・PIANC 鹿児島で現場見学会開催＝若手技術者委員会
- ・東北地整 維持管理講習会を開催＝小名浜港、秋田港等
- ・博多港 ベトナムセミナー開催＝アジアのゲートウェイ
- ・苫小牧港 マレーシアセミナー開催＝外貨貨物取扱量拡大へ
- ・航空局 A2-BCP 策定へ＝ガイドライン案を公表

■令和元年 11 月 25 日号（第 1667 号）

- ・自民党港湾議連 総会開催し緊急決議採択＝補正、令和 2 年度予算確保
- ・初会合 港湾分科会防災部会開催＝来夏まとめ、総合的な防災・減災対策
- ・第 77 回港湾分科会開催 川内港の港湾計画改訂、大分・宮崎港一部変更
- ・みなと総研・運総研 調査研究の連携覚書締結＝クルーズ観光拡大で協力

- ・日本全国みなと便り (43) 関門航路
- ・東京港 ケーソン製作工事 2 件等＝新海面、Dブロック護岸整備
- ・東京都 令和 2 年度予算見積＝ふ頭整備・再編 68 億円
- ・敦賀港 地盤改良工事その 2＝鞠山南地区水深 14m 岸壁
- ・川内港の港湾計画改訂＝コンテナ原木に対応、ヤード移転、新岸壁等
- ・大分港、宮崎港 港湾計画の一部変更＝新規埠頭、航路拡幅など
- ・志布志港 新若浜地区の岸壁整備＝国際バルク港湾等促進
- ・鹿児島港 臨港道路鴨池中央港区線＝R 4 年度～ 8 年度に変更
- ・埋浚協会 仙台塩釜港で会長パトロール＝ 2 現場の安全対策等を確認
- ・五洋・鹿島・寄神 12MW 級風車対応 S E P 船＝2023 年稼働へ建造決定
- ・沿岸センター コーススタルテクノ 2019＝論文報告、特別講演等
- ・日港連 国交省と意見交換会＝働き方改革の推進等要望
- ・第 102 回日港連セミナー開催＝チームワーク、地域性等
- ・海・港構造物設計士会＝仙台市で第 9 回研修会
- ・ブルーカーボン研 生態系調査手法WG 設置＝調査ガイドライン策定へ
- ・みなと総研 新みなとまちづくり＝元年度第 1 回研究会
- ・東亜建設工業 第 2 四半期増収・増益＝決算説明会開催
- ・港湾局ら 北東アジア港湾局長会議＝環境政策等の情報共有
- ・埋浚、東北地整＝意見交換会を開催
- ・酒田港から香港向け輸出＝果樹で初の試み

■令和元年 11 月 18 日号 (第 1666 号)

- ・海岸 4 省庁 沖合施設の予防保全型管理へ＝年度内改訂、マニュアルに追加
- ・国交省 女性活躍推進へ新計画＝年内策定、委員会で骨子案議論
- ・港湾局 海外港湾の埋没対策検討＝収益確保手法の確立
- ・国土交通省 登録資格の公募開始＝点検・診断、加点评価等で活用
- ・国交省 建設キャリアアップシステム＝効果検証のモデル工事
- ・日本全国みなと便り (42) 室蘭港
- ・新潟港 北護岸嵩上げや中仕切堤＝西港区、航路泊地付帯施設整備
- ・姫川港 海岸と防波堤に着手＝東ふ頭小型船溜まり
- ・横浜港 WTO 対象 2 件追加＝新本牧と本牧地区岸壁
- ・苫小牧港 国際物流ターミナル着工式開催＝室蘭開建ら、西港区真古舞地区
- ・堺泉北港 汐見沖地区水深 12m 岸壁＝エコ機能の付加も検討へ
- ・那覇港 新港地区クルーズバース＝埋立承認、ケーソン製作
- ・舞鶴港 国際ふ頭第 2 バース新規要望＝コンテナやバルク増に対応
- ・本部港クルーズ 岸壁延伸工事等を促進＝令和 3 年春供用目指す

- ・日立造船 海底設置型フラップゲート完成＝大船渡漁港向け津波対策
- ・長崎五島沖 潮流発電のEPC契約＝英国事業者、九電みらいエナジー
- ・第3回インフラメンテ大賞表彰式＝農水大臣賞も、港湾・海岸分野3件受賞
- ・国交省 国土技術研究会を開催＝港湾分野等の課題発表
- ・港湾コンサル協会 令和元年度意見交換会＝働き方改革等を国に要望
- ・航空局 第20回空港技術報告会＝11月21日・22日開催
- ・港湾局 みなとオアシス田子の浦＝全国135箇所登録
- ・広島空港 コンセプション2者選定＝令和3年4月民営化へ
- ・成田空港C滑走路新設等 変更許可申請＝2029年3月末完成へ
- ・LNGバンカリング＝名古屋港で実証実験

■令和元年 11月11日号（第1665号）

- ・港湾局 維持管理ガイドライン検討委＝来1月まとめ、直営向け運用書作成へ
- ・埋浚協会 関東地整と意見交換会＝生産性向上策取入れ発注を
- ・OCDI講演会を開催＝岡田前大使等が講演
- ・日本全国みなと便り（41）大阪港、堺泉北港
- ・茨城港 水門下部運搬、据付工＝大洗港区、第1埠頭津波高潮対策
- ・茨城港 浚渫土砂処分場着工＝常陸那珂港区中央ふ頭
- ・丘珠空港 将来像たたき台を提示＝札幌市、利活用検討委員会開催
- ・鹿島港開港50周年記念＝振興協会、講演会・祝賀会を開催
- ・成田空港 基本計画53年ぶり改訂＝C滑走路新設など
- ・大阪港 発注見通しに余水吐工事＝北港南航路附帯施設整備
- ・日高港 防波堤（西）粘り強い化＝改良延長工を今年度発注
- ・近畿地整ら 大規模津波防災訓練実施＝134機関、4,500人参加
- ・高知港 地元学生向け見学会開催＝海岸工事、新造作業船等
- ・四国地整 「津波防災の日」講演会＝国土強靱化へ二段防災
- ・若港 関門航路浚渫現場見学会＝山口県立工科高等学校生
- ・埋浚協会 うみの見学会を開催＝九工大学生ら、苅田港泊地浚渫工事
- ・沿岸センター 令和元年度上期評価賞交付＝港湾関連技術、部分変更1件、更新4件
- ・「濱口梧陵国際賞」授賞式＝赤羽大臣から表彰状、津波・高潮等防災に貢献
- ・リサイクルポート推進協 廃プラをテーマに講演会＝循環資源が新たな局面へ
- ・潜水協会中部支部 港湾潜水技能講習会開催＝若手対象に技能伝承取組
- ・第2回港湾工事安全衛生研修会＝埋浚関東支部ら4団体
- ・国交省 国土交通データ協議会＝プラットフォーム構築へ会員公募

■令和元年 11月4日号（第1664号）

- ・自民党港湾議連 港の発展が国力の源泉＝予算増へ地域の声を結集
- ・特振港 要望・意見交換会開催＝国会議員・港湾局幹部、活性化協議会
- ・政府 令和元年秋の叙勲・褒章＝瑞中に井福氏、村田氏
- ・日本全国みなと便り (40) 金沢港
- ・鹿島港 直轄の防波堤整備を促進＝主要プロ、13m岸壁事業化も要望
- ・小名浜港セミナー開催＝最新情報やサービス説明
- ・室蘭港 災害対応や岸壁整備＝利用者促進懇談会を開催
- ・名古屋港 飛島ふ頭東岸壁の再編＝栈橋本体築造工事公告
- ・堺泉北港 汐見沖岸壁の推進要望＝大阪市港湾局、堺2区では水深10m岸壁
- ・宮崎県 都内で港湾セミナー開催＝細島、宮崎、油津港PR
- ・高松港 朝日地区の耐震フェリーバース＝令和2年度予算に要望へ
- ・高知県 高知港の長期構想まとめ＝物流、交流、安全の強化
- ・国交省・JTCA 国際業務で若手勉強会＝技術者育成へ官民連携
- ・東京湾再生官民連携フォーラム総会＝2つの政策提案まとめ
- ・東京湾大感謝祭2019＝海洋技術紹介、イベント等
- ・埋浚協会 働き方改革等アンケート＝閉所実態、工期設定等
- ・国交省 国土長期展望専門委＝初会合、方向性議論
- ・海事局 フライ&クルーズを検討＝地方港を拠点に
- ・海事局 海事産業の将来像検討＝第2回会合、来春まとめ
- ・九州地域 航空5社でLLP設立＝系列超えた協働体制
- ・福岡市 博多港新港セミナー＝11月ベトナムで開催
- ・苫小牧港 マレーシアでセミナー、11月、輸出拡大へ

■令和元年10月28日号(第1663号)

- ・港づくり全国大会 令和2年度港湾予算満額を＝経済と暮らし、安全確保の要
- ・港湾法改正案 海洋エネ拠点港湾制度創設＝基本航路の維持・拡大も
- ・閣議決定 品確法基本方針一部変更＝入契法適正化指針も
- ・国交大臣賞 濱口梧陵国際賞2名受賞＝津波・高潮等、防災・減災に貢献
- ・日本全国みなと便り (39) 唐津港、伊万里港
- ・東北地域 仙台港14m岸壁が本格化＝直轄事業、主要港湾プロジェクト
- ・奥尻港 北防波堤整備を促進＝直立消波ブロック製作
- ・金沢港 西防波堤の改良＝ゼロ国債で発注
- ・四日市港 コンテナ岸壁第2バース＝霞ヶ浦北ふ頭、令和2年度事業化を要望
- ・姫路港 広畑地区新バース要望＝臨港道路の4車線化も
- ・広島港築港130周年＝記念シンポジウム開催＝クルーズ振興や物流機能強化
- ・高知港海岸 タナスカ護岸で基本設計＝浦戸湾内の地震津波対策

- ・川内港 地港審で改訂計画了承＝水深 12m耐震強化岸壁等
- ・SCOPE 令和元年度現場視察会開催＝東日本大震災、災害復旧の現状を探る
- ・底浄協 第 45 回技術セミナー開催＝港湾環境、改正土対法等
- ・国総研 東京湾シンポジウム開催＝第 20 回、多様な分野の取組み
- ・港湾局 みなとオアシス下蒲刈＝全国 133 箇所目登録
- ・北九州 白島沖洋上風力発電計画＝グローバル、アセス配慮書縦覧
- ・東北電力 秋田北部洋上風力事業＝大林組、合同会社に参画
- ・NEDO 海洋エネ発電の情報整理、早期実用化・低コスト化へ
- ・出光興産 油田向け浮体風力導入＝世界初、ノルウェーで計画
- ・JAPANコンストラクション国際賞＝国交省、第 3 回募集開始
- ・ヒアリ対策閣僚会議＝定着危惧、緊急対策

■令和元年 10 月 21 日号（第 1662 号）

- ・港湾知事協 国交省と意見交換会開催＝令和 2 年度要望書手交へ
- ・国交省 高潮・高波・暴風対策検討＝想定超え、年度内、施策方向性まとめ
- ・港湾局 繋離船作業検討会開催＝第 8 回、安全問題検討
- ・日本全国みなと便り（38）横浜港、川崎港
- ・川崎港 臨港道路は主橋上部工事＝主要プロ、堀込部は護岸工事促進
- ・仙台塩釜港 南防波堤で据付・製作＝石巻港区、長周期波対策も着工
- ・歯舞漁港 衛生管理の高度化＝釧路開建、岸壁改良や人工地盤
- ・大分港 大在地区港計一部変更へ＝地港審了承、ROROふ頭を再編
- ・清水港 多目的国際ターミナルの予備設計＝新興津水深 15m耐震岸壁
- ・佐世保港浦頭地区 クルーズターミナル整備＝国、市、カーニバル社が共同会見
- ・国総研／港空研 港湾技術講演会を開催＝最新研究動向、環境価値の定量評価など
- ・JICA コロンボ南港開発事業＝準備調査、東CT整備
- ・埋浚協会 埋立浚渫土量契約実績公表＝30 年度、海外工事受注現況も
- ・NEDO 洋上風況の観測手法＝合理化技術の開発着手
- ・海事局 海事観光の取組推進＝航路情報DB、二次交通
- ・大成建設 浮体式風力の市場開拓＝仏イデオル社と覚書
- ・三井E&S 大水深用ライザー接合技術＝共同研究、第一熱処理工業
- ・中部空港 複合商業施設 1 周年＝目標達成、犬塚社長会見
- ・米国沿岸警備隊 国際港湾保安プログラム＝日本調査、世界的にも高いレベル
- ・JERA 台湾洋上風力事業に参画
- ・JOGMEC等 砂層型MHフォーラム＝12 月、東大で開催

■令和元年 10 月 14 日号（第 1661 号）

- ・国交省 洋上風力基地港制度創設へ＝臨時国会に港湾法改正案
- ・関東地整 東京湾高波検討委を開催＝横浜市と合同会議、護岸設計手法見直し等
- ・国交省 青木副大臣就任会見＝戦略港湾、老朽化対策等
- ・航空局 空港自然災害対策検討委＝BCPガイドライン案
- ・国交省 データプラットフォーム＝プロトタイプ公開イベント
- ・株木雅浩氏（株木建設社長）逝去＝長年港湾事業に尽力
- ・日本全国みなと便り（37）水島港、宇野港
- ・横浜港 国際コンテナターミナル再編整備＝直轄事業、新本牧の岸壁地盤改良等
- ・岩手県 港湾PR分科会を開催＝企業ネットワークいわて
- ・岩内港 防波堤改良を促進＝本体ブロック据付等
- ・博多港 岸壁全延長の細部設計に＝施工中区間は上部実施設計
- ・徳島小松島港 土捨候補地の施工法検討＝性状改良による安定処理
- ・堺2区基幹的広域防災拠点＝近畿地整、陸自、堺市が協定締結式
- ・RSOシンポ みなとづくりの新たな視点＝目指すべき方向性を提案
- ・アセス準備書 由利本荘沖洋上風力事業＝秋田港拠点9.5MW級最大88基
- ・土木学会 土木広報大賞2019決定＝種市高校、関東地整など
- ・J-POWER 洋上風力の知見獲得へ＝五洋SEP船で撤去工事
- ・川崎汽船ら AI海上物流・市況予測＝共同研究を開始
- ・東洋建設 武澤社長が現場パト実施＝函館港、安全第一で
- ・あおみ建設 施工技術報告会を開催＝ICT施工等7人発表
- ・国交省 安全衛生経費関連施策＝検討会開催、年内とりまとめ
- ・rppcが講演会開催＝廃プラのリサイクル
- ・JOGMEC LNG情報サイト開設＝価格・在庫情報など
- ・建設、作文コンクール＝国交大臣賞など決定
- ・革新的深海資源調査技術＝SIP、11月報告会

■令和元年 10月7日号（第1660号）

- ・埋浚協会 担い手確保等へ要望まとめ＝交代制試行工事等、全国地整と意見交換
- ・国交省 気候変動踏まえた海岸保全＝来夏まとめ、検討委、整備手法等検討
- ・JOPCA・OECD 「港湾を巡る世界の動き」＝6か国の最新動向紹介
- ・国交省ら インフラメンテ大賞決定＝港湾・海岸で特別賞3件
- ・水門・陸間傷害保険＝管理者が契約、個人に支払い
- ・日本全国みなと便り（36）函館港
- ・東京港 Dブロック護岸建設工事＝新海面、ケーソン7函の据付等
- ・関東地整 第1回復旧工法検討委＝横浜港南本牧はま道路が損壊
- ・石狩湾新港 埋立願書の作成業務＝東地区水深12m岸壁



- ・根室港 ケーソン5 函を据付＝花咲地区 6 m岸壁改良
- ・北九州港洋上風力 響灘基地の施工計画検討＝超重量荷さばき・積出し施設
- ・広島技調 リサイクル材の活用技術＝設計マニュアルの検討など
- ・四国地整 浚渫土砂の有効活用技術＝今後実証試験などを予定
- ・大分港 大在西地区の事業化調査＝ROROバース、基本設計に
- ・北海道 クルーズ船誘致方針策定へ＝年内目途、中・小型ターゲットに
- ・福井あわら沖 洋上風力 20 万 kW 級計画＝アセス配慮書、中電、北電、OSC F
- ・土木学会 推奨土木遺産 29 件認定＝鹿島沖、若松港湾施設群等
- ・関東地整 15 号台風の被災地復旧＝今後対応策で委員会設置
- ・潜水協会九州支部 下関港で現場見学会開催＝下関工科高校生 9 名参加
- ・中部空港 第 2 ターミナル供用開始＝南側地区、LCC 向け
- ・三井E&S Gクレーン 4 基を現地へ＝インドネシア TPT 向け
- ・東洋建設 コーポレートレポート発刊＝現状、今後の方向性など
- ・環境省 全国 65 港湾ヒアリング調査＝夏季の結果公表

■令和元年 9 月 23 日・30 日合併号（第 1659 号）

- ・港湾局 クルーズ寄港拡大へ施策推進＝来年度需要増、官民連携拠点、日本発着等
- ・国交省 新任副大臣、政務官＝職員挨拶、就任抱負等を語る
- ・穀物バルク 企業間連携の促進方策＝港湾局、課題抽出、検討
- ・海外安全対策セミナー＝国交省、10/2 開催
- ・中建審 来春までに工期基準作成＝WG で項目検討
- ・日本全国みなと便り（35） 仙台塩釜港
- ・東京港 中防外側地区 Y 3 バース＝主要プロ、早期整備を都が要望
- ・川崎港 事務事業評価結果報告＝市港湾局、内奥運河係留再編など
- ・横浜港 11 月中にも埋立免許＝新本牧ふ頭の手続き
- ・博多港 国際CT 延伸部岸壁整備＝来年度中に直轄工事概成
- ・浜田港 福井地区の国際物流ターミナル＝水深 14m 概略設計
- ・高松港 朝日地区の耐震フェリーバース＝高松技調が構造検討業務
- ・広島空港 今年度RESA 設計予定＝令和 3 年度から工事着手
- ・国交省、水産庁 放置艇等の全国実態調査＝対策推進、前回は 1.7 万隻減
- ・全国初 砂浜を海岸保全施設指定＝石川海岸、予防的な侵食対策へ
- ・国際荷役セミナー開催＝最先端のCT と労働環境
- ・三井E&S 表層型MH の技術開発＝氷試験体、回収システム確立へ
- ・宮城県 山元沿岸で風力発電導入＝事業者候補の公募開始
- ・環境省 瀬戸内海の環境保全方策＝小委開催、年度内に答申まとめ
- ・港湾談話室 松原氏招き講演会＝元・運安委事務局長

- ・苫小牧港 コンテナ貨物の北極海航路利用＝日本初、トライアル実施
- ・洋上風力等 N E D O 成果報告会＝10 月横浜で開催

■令和元年 9 月 16 日号（第 1658 号）

- ・赤羽国交大臣 コンテナ戦略港湾政策推進を＝就任会見、建設業担い手確保等
- ・港湾局 高効率ユニットロードターミナル＝技術検討、自動離着陸岸装置の導入等
- ・国交省 中央建設業審議会総会＝工期基準作成WG 設置
- ・国交省 施工の自動化実現へ＝A I 技術開発、意見募集
- ・港湾局 みなとオアシス釜石＝全国 132 箇所目登録
- ・日本全国みなと便り（34）名古屋技調
- ・敦賀港 地盤改良とケーソン製作＝鞠山南地区、国際物流ターミナル整備事業
- ・川崎港 堀込部の埋立方法検討＝東扇島、市が日本工営に委託
- ・東京都 防波堤の基礎工など＝波浮港の主要事業
- ・大分港海岸 今秋から楕円鋼矢板打設＝津留側面や住吉では調査
- ・津松阪港海岸 栗真町屋 3 工区が進捗＝栗真地区は来年度現地に
- ・衣浦港 外港地区岸壁の構造検討＝港口の水深 12m 耐震バース
- ・指宿港海岸 離岸堤改良整備が進捗＝第 1 期養浜は今年度完成
- ・環境省 浮体式風力の事業化支援へ＝来年度新規、産学官協議体、適地抽出
- ・令和 2 年度 水産基盤整備事業 867 億円＝概算要求、水産革命連動の漁港整備
- ・水産庁 遠隔離島周辺の漁場整備＝概算要求で調査費計上
- ・日本風力開発 秋田沖洋上風力発電事業＝アセス方法書、最大出力 72 万 kW
- ・アセス方法書 唐津洋上風力発電事業＝最大出力 40 万 kW、2026 年運転開始へ
- ・みらい造船プロジェクト 新工場完成＝地場造船所の復興
- ・環境省 環境配慮の再エネ導入へ＝来年度予算、データベース整備
- ・北極圏 ロシア LNG 事業参画＝三井物産、J O G M E C
- ・南アジア等 海事局、浮体構造物活用＝案件形成調査を実施
- ・国交省 塩害モニタリング技術＝道路橋、4 技術選定
- ・有明海の大量浮遊物回収 九州地整と埋浚が連携＝9 日間で昨年上回る量

■令和元年 9 月 9 日号（第 1657 号）

- ・港湾局 主要施策の方向性を支持＝重要港湾管理者等主幹課長会議
- ・国交省 I C T 施工支援体制整備＝概算要求、中小建設業者向け
- ・T I C A D 7 横浜宣言 2019 を採択＝ブルーエコノミー発展等
- ・海事局 海事分科会基本政策部会＝ハブ港等、内航海運のあり方
- ・日本全国みなと便り（33）小樽港、石狩湾新港
- ・千葉港 県がふ頭再編の埋立計画＝主要プロ、葛南中央は岸壁改良等

- ・鹿島港 居切地区仮締切工事＝茨城県、埋立と橋梁撤去へ
- ・鹿児島港 中央港区クルーズバース＝岸壁築造工事の手続きへ
- ・長崎港 クルーズ船修繕事業拠点化＝官民で連絡調整会議設置
- ・岩国港臨港道路 2期の早期供用へ工事促進＝3期は詳細設計等手続きへ
- ・徳山下松港 徳山地区航路の浚渫へ＝今年度第4四半期に発注
- ・経産省 エネ関係概算要求 8,362億円＝水素、MH、洋上風力、海底資源開発等
- ・東電HD 銚子沖で洋上風力事業計画＝最大37万kW、配慮書を縦覧
- ・石狩湾新港 リサイクルポート推進協＝元年度総会、講演会開催
- ・石狩湾 洋上風力100万kW計画、アセス配慮書、コスモエコパワー
- ・若港 八幡工業高校2年生38名＝港湾工事の現場見学会開催
- ・利便性PR 境港利用懇談会を開催＝北東アジアの拠点へ
- ・概算要求 建設業の人材確保＝国交省、厚労省
- ・北海道開発局 台湾への輸出実証実験開始＝道産食品の輸出促進図る
- ・羽田空港 来夏ダイヤ発着枠拡大＝9つの国・地域に配分
- ・商船三井 トルコ製鉄大手と連携へ＝港湾運営、製品輸送等
- ・近畿地整 大阪湾の防災情報一元化＝ポータルサイト立上げ

■令和元年9月2日号（第1656号）

- ・令和2年度 港湾局関係概算要求 3,031億円＝対前年度比1.19倍、コンテナ戦略港湾630億円
- ・自民党港湾議連 来年度予算テーマに総会＝港湾整備・振興を決議へ
- ・港湾技術基準 登録確認機関の更新＝寒地センター、沿岸センターの2者
- ・日本全国みなと便り（32）神戸港・姫路港
- ・秋田港 防波堤と岸壁の地盤改良＝主要プロ、クルーズ岸壁の設計も
- ・酒田港 第2北防波堤の整備＝ケーソン2函を据付
- ・関東地整 WTO案件の浅場造成＝富津沖、発生土砂で窪地埋戻し
- ・神戸港 航路附帯施設築造工事へ＝WTO3件の手続き開始
- ・鹿児島港 谷山二区に係留施設整備＝海上保安部から支出委任
- ・高知港 湾口地区津波防波堤＝施工法の検討業務へ
- ・北九州港 新門司沖土砂処分場2期＝東護岸の浚渫・置換工を公告
- ・概算要求 空港整備勘定 4,517億円＝羽田616億円、一般空港1,351億円
- ・令和2年度港湾局関係税制改正＝新規1件、延長3件要望
- ・港湾技術基準 フォローアップ調査実施＝昨年改訂、追加項目等
- ・概算要求 海事局関係 117億円＝海事生産性革命の深化等
- ・国総研 概算要求、新規6課題＝空港除雪車両の自動化等
- ・港湾局 MSCクルーズ意見交換＝上質な寄港地観光造成へ

- ・政府 改正建築業法・入契法＝三段階施行、9/1 初弾
- ・ J I C A ラ・ユニオン港活性化調査＝エルサルバドル有償技術支援
- ・ J I C A トクア空港協力準備調査＝パプアニューギニア
- ・ J パワー 北海道で洋上風力検討＝檜山エリア沖で調査
- ・ 苫小牧港 小口混載コンテナ輸送＝台湾向け等支援事業
- ・ 四経連 資源・環境委員会開催＝洋上風力等テーマ
- ・ 土木学会 被害調査報告、講習会＝北海道胆振東部地震

■令和元年 8 月 26 日号（第 1655 号）

- ・ 港湾局 港湾の効果的な維持管理へ＝ I C T 点検用、劣化度判定基準等を検討
- ・ 5 名 2 団体 第 12 回海洋立国功労者表彰＝磯部高知工科大学長ら
- ・ 東京オリパラ 円滑な港湾物流へ協議＝国交省／東京都 C T 時間拡大等
- ・ 四国地整 四国港湾ビジョン検討委＝将来像検討、年度内策定
- ・ 日本全国みなと便り（31）別府港・大分港
- ・ 川崎港 W T O の下部工事手続き＝関東地整、臨港道東扇島アプローチ
- ・ 東京港 基本計画やスキーム＝日の出埠頭再整備検討
- ・ 追直漁港 外防波堤ケーソン製作＝室蘭開建、東護岸改良等も促進
- ・ 室蘭開建 水深 3 m 岸壁改良等＝登別漁港の整備事業
- ・ 徳山下松港 国際バルクバース整備＝栈橋本体等築造工手続き
- ・ 大阪湾基本構想 フォローアップ策定＝スマートベイの実現へ
- ・ 福岡空港 滑走路増設工事が本格化＝ C P G 工法で試験工事も
- ・ 北九州港 新門司で地盤改良工＝フェリーバース整備
- ・ 民間運営 北海道 7 空港設備投資戦略＝30 年間、新千歳 2,950 億円等
- ・ パシフィコエナジー 南伊豆 30 万 kW 洋上風力＝アセス配慮書を縦覧
- ・ 電源開発／住友商事 西海洋上風力発電事業＝最大 52 万 kW、配慮書を公表
- ・ 中部地整 清水港から海上輸送実験＝農産品の海外輸出後押し
- ・ 長崎市・三菱重工ら クルーズ船修繕事業拠点化＝官民連絡調整会議設置へ
- ・ 港湾局 みなとオアシス笠戸島＝徳山下松港、全国 131 箇所目
- ・ 北電と G P I が連携協定＝石狩湾の洋上風力事業等
- ・ N E D O 洋上風力の漁業影響調査＝手法とりまとめへ検討
- ・ 海・港維持管理士会＝10 月 1 日に長崎で講演会
- ・ 東電 再エネ発電事業を分社化＝10 月に新会社設立
- ・ 国交省 シベリア鉄道活用輸送＝伏富港から欧州へ
- ・ 中国管内港湾 コンテナ取扱過去最高＝30 年の速報値をまとめ

■令和元年 8 月 12・19 日合併号（第 1654 号）

- ・港湾局 海外港湾物流プロジェクト協議会開催＝官民連携、NW強化、受注案件拡大へ
- ・羽田空港 来夏ダイヤから新飛行経路＝航空局、機能強化協議会を開催
- ・港湾局 サイバーポートWG開催＝港湾関連、データ連携基盤
- ・釣り文化振興モデル港＝2次募集延長、3月選定
- ・国交省、東京都 東京オリパラ対策方策＝円滑な港湾物流確保へ
- ・日本全国みなと便り (30) 沖ノ島、南島
- ・【2019年夏季特集】「港湾をめぐる最近の諸情勢と重点施策」
- ・横浜港 WTOの地盤改良工入札＝新本牧ふ頭、HBケーソン製作も
- ・横浜港 大黒C3ターミナル＝年度後半に改良工事
- ・天塩港 西外防波堤延伸など＝今年度にブロック製作
- ・中空沖埋立 年内にアセス手続き終了へ＝来年にも公有水面埋立申請
- ・三建百周年祝賀行事 講演会・祝う会＝関係者650名参加
- ・NEDO・IHI 海流発電システム長期実証開始へ＝100kW級実証機「かいりゅう」
- ・洋上風力 促進区域の有識者会議＝コスト低減考慮し指定を
- ・大臣表彰 第21回国土技術開発賞＝港湾関係2技術、創意開発賞も
- ・関東地整 CONPAS試験運用＝総待機時間10%削減
- ・日アセアン 次官級会合で新規プロジェクト合意＝航空分野人材育成など
- ・海上GPS機構 神戸港で測位講習会開催＝地盤改良の船上見学会も
- ・北陸地整・埋浚支部 若手技術者勉強会＝共同でスキルアップ
- ・港湾局 競合国外技術と比較検討＝海外港湾プロジェクト受注へ
- ・国交省 PPPサウンディング＝対話ポイントまとめ

■令和元年 8月5日号 (第1653号)

- ・促進区域 年内指定へ有望4区域調査＝洋上風力、秋田、千葉、長崎県沖等
- ・WF協会 みなとマイスター14名認定＝新規2名は港湾局長表彰も
- ・港湾局 クルーズ補助24事業選定＝旅客満足度向上計画等
- ・国交省 先導的官民連携支援事業＝大阪港上屋、北九州空港の民活等
- ・日本全国みなと便り (29) 江差港、奥尻港
- ・伏富港 新湊地区中央ふ頭の再編＝北陸地整、撤去工・仮設工等着手
- ・青森港 ユニット貨物拠点化＝県が調査検討業務委託
- ・鹿島港 据付・製作の2件＝北海浜防砂堤整備
- ・羽田空港 浅場造成等工事＝浚渫土砂を投入
- ・名古屋港 金城ふ頭の多目的国際ターミナル＝初弾の岸壁築造工事公告
- ・下関技調 熊本港水深10m耐震岸壁＝重力式や栈橋式を比較検討
- ・徳山下松港 国際バルクバース整備＝跨橋部上部工手続きへ
- ・松山空港 滑走路確保で予備設計＝栈橋も視野に比較構造へ

- ・埋浚協会 洋上風力基地港湾の在り方＝自主研究報告、必要規模、機能分散など
- ・埋浚協会 港湾技術報告会を開催＝特別講演、最新技術動向等
- ・防食・補修工法研 令和元年度定時総会＝講演会、懇親会も開催
- ・港湾保安機構 第16回通常総会開催＝鬼頭氏が新会長に就任
- ・清水建設 大型風車対応SEP船建造＝500億円、2022年度完成
- ・横浜市 ブルーカーボン連絡会議＝自治体間オフセット連携へ
- ・経産省 海洋プラスチック検討委＝海洋生分解プラスチック標準化
- ・経産省 大阪・関西万博開催計画＝具体化へ報告書まとめ
- ・四日市港湾事務所 工事安全大会開催＝事故・災害ゼロ決意
- ・11月に空港技術報告会＝災害など、報告議題募集
- ・海事局 海事生産性革命へ支援＝技術開発、計画策定
- ・特定港湾施設整備計画 ④工業用地

■令和元年 7月29日号（第1652号）

- ・港湾局 高田局長が就任記者会見＝抱負、重要施策等を語る
- ・総会開催 全国クルーズ活性化会議＝国、船社に要望書手交
- ・海の日 海事関係者大臣表彰＝港湾協会等、12団体祝賀会
- ・海の日大臣表彰＝210名、港湾関係者45名
- ・港湾局 ウラジオストック港参入へ＝機能強化方策を検討
- ・日本全国みなと便り（28）仙台技調
- ・敦賀港 ケーソンと上床版製作＝鞠山南、国際物流ターミナル整備事業
- ・八戸港セミナー 4年連続5万TEU超＝市と協議会、ヤード拡張で増加期待
- ・伏富港 富山地区2号岸壁改良＝上部工と裏込・裏埋
- ・八戸港 付帯施設で築堤工等＝土捨場整備工事の手續
- ・舞鶴港 臨港道路上安久線事業＝施工法検討業務等手續き
- ・高知港海岸 種崎地区堤防の基本断面＝固化改良体構造を検討に
- ・堺泉北港 汐見沖地区水深12m岸壁＝早期具体化へ土質調査等
- ・北九州港新門司 直轄で陸上地盤改良＝新フェリー受入れ準備
- ・SCOPE 洋上風力発電を総合支援＝MWSで事業信頼性確認
- ・国交省 i-Con 推進企画委開催＝維持修繕へICT拡大
- ・港空研／国総研 「海の一般公開」開催＝施設見学、体験学習など
- ・東京湾再生 CSR-NPO交流会＝海洋プラスチック対策へ
- ・地盤工学会 創立70周年特別講演会＝吉見元会長等が講演
- ・特定港湾施設整備計画 ③ふ頭用地、引船、港湾関連用地
- ・平成30年度優良工事等＝東京港所長らが表彰

■令和元年 7月 22日号 (第 1651号)

・ガントリークレーン A I、ビッグデータ活用システム検討＝ノウハウ継承や予防保全的維持管理

- ・海の日行事 海と日本プロジェクト＝晴海ふ頭で総合開会式
- ・晴海ふ頭 海の日に潜水土を P R＝潜水協会、種市高校
- ・阪神国際港湾 阪神港の今後の対応＝万博対応、高潮対策
- ・国交省 技術政策懇談会を開催＝国際ゲートウェイ戦略議論
- ・訃報 大久保喜一氏逝去＝元港湾局長、元五洋建設副社長
- ・日本全国みなと便り (27) 荻田港
- ・新千歳空港 南側誘導路新設等完了へ＝札幌開建、末端取付誘導路に着工
- ・横浜港 後半に向け取組方針＝クルーズサポート会議
- ・東京港 沈埋トンネルの貫通式＝関東地整、臨港道路南北線整備
- ・境港 竹内南水深 10m岸壁＝来春供用へ仕上げ整備に
- ・広島港 宇品のふ頭再編事業＝来意年度から着手予定
- ・松山空港 滑走路端安全確保へ調査＝構造形式も今後検討作業
- ・那覇港 新港地区クルーズバース＝今秋よりケーソン製作、埋立
- ・SCOPE 洋上風力発電セミナー開催＝先進プロジェクトの動向等
- ・CPG工法研究会 第 18 回定時総会を開催＝国土強靱化へ各地で展開
- ・IAPH日本 第 32 回日本セミナー＝我が国の積極的関与必要
- ・Jパワー／住商 長崎県沖で洋上風力検討＝促進区域見据え海底地盤調査
- ・住友商事 540 MW級洋上風力を計画＝秋田沖、配慮書縦覧
- ・第 14 回再エネ世界展示会 横浜開催＝海洋エネフォーラム等
- ・関東地整 平成 30 年度優良工事等＝横浜港南本牧岸壁など
- ・特定港湾施設整備計画②ふ頭用地

■令和元年 7月 15日号 (第 1650号)

・洋上風力 基地港湾の新規制度検討＝高耐荷重岸壁・荷捌き地等、埠頭の長期的利用を担保

- ・航空局 A 2－BCP作成指針＝年度内策定、作業部会を開催
- ・中部空港会社 犬塚新社長が記者会見＝就任抱負、二本目滑走路等
- ・港湾局 港湾の防災機能強化方策＝年度内に中間まとめ
- ・国交省 キャリアアップシステム義務化＝技能実習生の受入基準
- ・航空局、経産省 空の移動革命構想発表会＝都道府県、空飛ぶクルマ
- ・日本全国みなと便り (26) 徳島小松島港
- ・鹿島港 WTO案件の築造工手続＝外港地区、南防波堤整備を促進
- ・東京港 令和 2 年度提案要求＝中防 Y 3 バースなど

- ・紋別港 直立消波ブロック等＝水深4m西物揚場改良
- ・下関港 クルーズバースの整備＝ケーソン築造工事手続き
- ・鹿児島港 中央港区クルーズバース＝ケーソン製作工を追加へ
- ・和歌山下津港 本港地区防波堤（外）＝今年度から粘り強い化
- ・港湾局 コンテナ貨物流動調査・分析＝5年に1度、戦略港湾政策の成果現れ
- ・2018年コンテナ取扱貨物量＝速報値、2,349万個で過去最高
- ・港空研 研究委託制度を創設・公募＝国土強靱化、産学の革新的技術
- ・国交省 女性活躍推進の新計画＝建設業、年内策定
- ・成田会社 海外空港運営に初参加＝新ウランバートル空港
- ・東洋建設 90周年記念式典を開催＝開拓者、不屈の精神を
- ・MC-3・4貸付公募＝YKIP、11月選定
- ・日立造船 浮体風力プラント建設＝仏企業とFS実施
- ・特定港湾施設整備計画＝①上屋、荷役機械

■令和元年7月8日号（第1649号）

- ・港湾分科会 姫路港の港湾計画改訂等＝第76回、神戸港の一部変更も
- ・国交省 港湾基本方針を変更、告示＝20年ぶりに抜本的見直し
- ・コンテナ貨物過去最高＝2018年速報値
- ・日本全国みなと便り（25）紋別港
- ・八戸港 航路泊地付帯の護岸整備＝東北地整、ポンプ浚渫や防波堤も
- ・伏木富山港 延伸整備完成式典開催＝新湊地区国際物流ターミナル
- ・山形県 滑走路延伸への支援＝地方空港の機能拡充
- ・新潟県 西港航路浚渫の推進＝政府に対する県要望
- ・神戸港 航路付帯施設築造工事へ＝WTO3件を第3四半期
- ・北九州港 新門司沖土砂処分場2期＝ポンプ浚渫と置換工1件
- ・神戸港 第5防波堤撤去第2工区＝本体ケーソンなどが対象
- ・大分県 令和2年度重点事項＝大分港、別府港で新規要望
- ・国交省 生産性革命推進へ本部会合＝石井大臣、サイバーポート実現等
- ・日港連 第100回セミナーを開催＝川嶋元会長等講演、文学と横浜港
- ・海・港構造物維持管理士会＝札幌で第18回講演会開催
- ・港湾学術交流会 総会で今年12月解散了承＝60周年記念行事を開催
- ・国交省 広島空港民営化へ募集＝令和3年4月に運営開始
- ・起債事業 特定港湾施設整備基本計画＝用地造成等、事業費793億円
- ・国交省ら 北海道7空港一括民営化＝優先交渉権者を選定
- ・大林組ら 洋上風力事業化へ合同会社＝秋田県北部、455MW
- ・三井E&S 比マニラ向けに受注＝港湾荷役クレーン16基



- ・自然電力 浮体式洋上風力で協力＝仏イデオル社
- ・LNG燃料船モデル事業＝国交省・環境省

■令和元年 7月1日号 (第1648号)

- ・港湾局 日本発着クルーズ拡大へ＝新規寄港円滑化、来年から統計調査も
- ・海事局 海事観光推進協議会を設置＝官民一体で取組み加速を
- ・国交省 官民連携整備5件採択＝下田港係留施設整備など
- ・港湾9団体 JICA研修セレモニー＝開発・計画、13か国15名参加
- ・日本全国みなと便り (24) 那覇港・中城湾港
- ・金沢港 築造工事や土砂陸上運搬＝無量寺、今年度で岸壁改良完了
- ・川崎港 2工区橋梁下部工事＝東扇島側アプローチ部
- ・関東地整 第二海堡の護岸工事＝東京湾中央航路整備
- ・神戸港 第5防波堤撤去工事追加＝旧第5セルも試験撤去へ
- ・大阪港 航路付帯施設整備促進＝護岸(2)基礎工事公告へ
- ・博多港 国際コンテナターミナル延伸部工事進む＝ジャケット製作据付等作業
- ・東亜建設工業 作業船の航行支援システム開発＝拡張現実利用「ARナビ」
- ・港湾空港技術振興会 令和元年度総会を開催＝高橋氏が新会長に就任
- ・CDM研究会 第42回通常総会開催＝国際的に広く普及を
- ・みなと総研 未来のみなとづくり助成＝30年度成果報告会開催
- ・港湾局 寄港地観光プログラム意見交換＝RCIへツアー提案
- ・閣議決定 国交省の組織改編＝海外プロジェクト審議官など新設
- ・関東地整 新港湾情報システムの試験運用＝横浜港、事前予約制度
- ・東洋建設 土木施工技術研究発表会＝若手、品質向上策など
- ・大林組 SGR Eと協定＝秋田北部洋上浮力
- ・横浜川崎国際港湾＝国際団体に加盟
- ・長州出島でクルーズ企画＝下関市、市民が見送り